

【東日本大震災復興支援】 全文（プログラムに掲載されていない部分もあります）

去る3月11日に突然起きました「大地震と津波」により亡くなられた方、被災された方そして原発事故により避難された方々に心からお見舞い申し上げます。今回、被災されました宮城県・岩手県・福島県の県の吹奏楽連盟より、震災後の状況などのご報告を頂きましたのでご紹介いたします。

[illegible]

東北吹奏樂連盟・宮城県吹奏樂連盟 三塚尚可 理事長

想像を超える大地震と大津波、原子力発電所の損傷による放射能危機、さらに、風評被害が東北から関東に及ぶ広範囲で発生し、それぞれの被害について未だ解決の目途が着いていない状況であり、震災より四ヶ月余りが過ぎて、なお、不安な日々を過ごしている方々が大勢おられます。宮城県は大地震による建物等の被害も多いのですが、特に海岸地域は津波による死者、不明者が約14,000人に及び、さらに16,000人余りの方々が避難生活を余儀なくされている状況です。瓦礫の撤去も捗っておらず復興の見通しは暗いものがあります。

吹奏楽の団体の中には幸い亡くなられた方はおられないようですが、避難の際に楽器を持ち出されず流されたり、海水に浸かって使用出来なくなったなどがあります。

震災後、全国の多くの方々から吹奏楽の復興を願っての義援金、見舞い金、楽器の提供を頂いております。被害に遭われた団体は通常の生活がまだ出来ていない状況ではありますが、吹奏楽の活動が出来るだけ早期に本来の軌道に戻られるように努力しているところです。

宮城県吹奏楽連盟として被災団体へ、楽器の提供、修理、演奏講習会などの支援活動を始めております。6月12日、26日に石巻地域や気仙沼、南三陸地区で行いましたが引き続き県内の他地域に対しても同様の支援活動を行っていきたく考えております。また、コンクールにも多くの団体が参加できるように条件整備を進めております。

東京都内の多くの方々より沢山の温かい励ましや支援を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。
また、この度の演奏会のご盛会を祈念申し上げます。

[illegible]

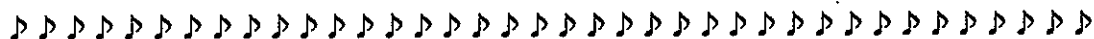
岩手県吹奏楽連盟 理事長 佐藤清一

この度の3・11東日本大震災に際しましては、東京をはじめとする全国の皆様よりお見舞いや激励のメールを多数いただきました。また、善意の楽器の提供や全日本吹奏楽連盟に多額の義援金をお寄せいただきましたこと、この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて、3・11の地震と津波、または火災により岩手県の沿岸部は壊滅的被害を被りました。風光明媚なリアス式海岸も白砂青松の穏やかで美しかった陸前高田市の高田松原も跡形もなく崩れ去りました。平地にあった高田高校と釜石東中学校は津波にすべてを奪われました。私事ですが、高田高校には10年前まで勤務していましたので、より衝撃を受けました。また長年、市民に愛されて活動してきた宮古吹奏楽団と釜石市民吹奏楽団も楽器などを失い、活動休止を余儀なくされています。

この中で幸いだったことは上記の2校以外は学校が高台にあり、楽器流失は免れていたことでした。ただ、楽器はあっても学校が避難所であり、家や家族、家財や職を失った保護者の元、部活動どころではありません。

このような窮地の中、前記の楽器流出した２校へ某大手警備会社の東京本社やＮＰＯ法人から楽器の提供があり、その後も善意の楽器を各方面から寄付され、活動再開できるようになりました。全日本吹奏楽連盟に寄せられた義援金もすでに沿岸地区の各団体に配分させていただきました。これらの資金を活動費に充て７月１８日内陸の遠野市で、岩手県吹連の直轄事業として沿岸地区大会を開催します。ほとんどの学校が参加する他、休止中の市民団体がアトラクション演奏します。この吹奏楽コンクールが復興への序奏となればと願っています。震災より３ヶ月、復興への道程は未だ先が読めません。岩手県吹連でも独自に義援金の口座を設置しています。暖かいご支援を賜りますようお願いいたします。



福島県吹奏楽連盟 理事長 根本直人

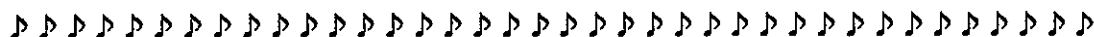
3月11日の未曾有の東日本大震災により県内では、地震、津波で多くの尊い命、財産を失い、さらには東京電力福島第一原子力発電所の人為的事故により、甚大な被害を受けたばかりでなく風評被害により、全国各地から福島県民は、被ばく民等の扱いを受けております。

事実、残念ながら、今年の吹奏楽コンクール県大会の審査員を辞退される方も出てきました。幸いにも、福島県太平洋沿岸の浜通り地方の小学校、中学校、高等学校では、大地震と津波に伴い、楽器等が流されたり、破損したりといった被害報告は、特には受けておりません。しかし、双葉郡内（浪江町、双葉町、大熊町、富岡町）及び、南相馬市小高区では、東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害により、避難区域に指定され、学校に楽器を取りに戻れない状況にあります。

また、南相馬市原町区の小学校及び中学校では、同市鹿島区の小学校及び中学校の各校に3～4学校が間借りをして再開することとなりましたが、放射線の関係で、学校に戻って楽器を持ち出すことができない状況にありますので、部活動の再開については、大変に難しい状況にあり、また、練習場所や練習時間すら確保できない状況にあります。

そして、相馬市内の小学校と中学校は、何とか活動を再開できましたが、相馬郡飯館村（飯館中学校、草野小学校）は、隣接の川俣町の小・中学校の校舎を借りて、学校を再開する予定でしたが、福島第一原子力発電所から計画的避難地域に、飯館村と川俣町も共に指定されてしまったため、学校の再開の目処が立たなくなりました。

また、相馬市内の相馬高校、相馬東高校以外の8つの高校は、サテライト方式（福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、相馬市の5市内の高校を借用）により再開したため、楽器もなく、練習場所や練習時間すら確保できない状況にあり、部活動の再開は見通しがだっていません。



【東日本大震災による救済・義援金受付口座開設のお知らせ】

被災地支援のための全日本吹奏楽連盟では、義援金口座を開設しました。みなさまのあたたかいご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。お近くの郵便局でお手続きください。郵便振込口座は以下のとおりです

《郵便振替口座》

口座番号 00190-4-727795

口座名 社団法人 全日本吹奏楽連盟